

# 町民の広場

## もし、僕が町長だったら



菱田中学校3年 館心  
自治公民館  
高尾良 皿

僕は、この大崎町に14年間住んでいますが、自分が町長だったらということについては、生まれてから一度も考えたことはありません。そこで今回これから何年も住んでいくであろう大崎町の問題点について、未熟ながら考えてみました。

まず、児童・生徒数の減少です。これは、全国的にも「少子化問題」として取り上げられています。僕が卒業した小学校では、僕たちの先輩方の時代では、1学級30人〜40人が普通でした。しかし、段々と子どもの人数が減り、今では10人前後になってしまいました。菱田中も以前は、1学年に何クラスもありましたが、今では、1学年1ク



ラスしなくなっていました。このまま少子化が進んでいくと、小・中学校の人数はさらに減り、行事等があまり盛り上がりなくなってしまうかもしれません。今は、産婦人科の減少で子供を生みにくい環境になっていることも事実です。それに対して僕ならば、まずは産婦人科や、24時間受け入れられる病院を増やします。さらに、両親が共働きでも大丈夫のように、保育所も増やします。また、学校に入っからは、小・中学校に2人以上いるような場合は、2人目以降は給食費等を半額にするような方法をとります。そして子供を安心して産み、育てられる環境をつくりたいと思います。

次に、みなさんは大崎町にスポーツを思いっきり楽しめる場所がもつとあれば



町民体育祭で披露された菱田中男子生徒による組体操

いいのにと考えたことはありません。町内には、グラウンドだけというのはありませんが、設備が整っている場所は少ないと思います。スポーツの大会などでも町外に行くことがほとんどです。ですからこの際、屋外、屋内、水泳等のスポーツができる施設を近いところに集め、様々なレクリエーションなどでもできる場を作ったらどうでしょうか。そうすれば、子どもからお年寄りまで、町民全体でふれあう機会ができると思います。

今現在、僕が考えている二つのことを書かせて頂きました。将来もし僕が町長になるとすれば、子どもからお年寄りまで安心して暮らせる「町」を作ります。この先何十年も住んでいくであろう大崎町のために。

## 編集後記

うだるような連日の暑さも10月半ばになって、朝夕がめっきり涼しくなり、道端に咲いているコスモスを見て、ああ秋なんだなあ“と想わせるこの頃です。

この時期学校では運動会、集落では敬老の日の催しで賑わいました。また台風も来ず、まずはひと安心…。

ところが国会は大荒れでした。政治と金、年金問題で揺れた参議院選では自民党が大敗。すると誰もが予想だにできなかった安倍総理の訳の解らない突然の辞任。そして福田背水の陣内閣が誕生し、ねじれ国会開幕と…。

次から次へと今の国政を象徴するかのような出来事が起きました。これでは地方が良くなるはずがない。私たち地方に住むものにとつては、格差社会、地域間格差などない国づくりにも一日でも早く取り組んで欲しいものです。

広報編集委員会では、町政や議会活動が解りやすく愛読していただけのオープンな広報紙づくりに、これからも取り組んでまいります。

(岩田)

発行責任者 大崎町議会議長

阿野 二郎